

# チェコ政治情勢

## 近年のチェコ内政の流れと現状

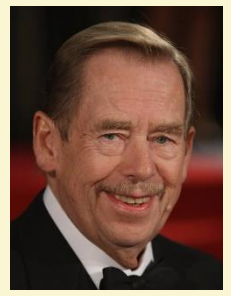
2023年2月24日  
在チェコ日本大使館  
落合加奈

# 目次

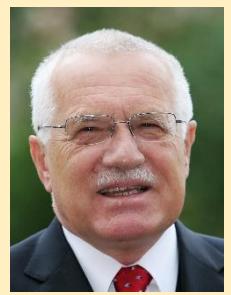
- 1993年チェコ独立後の政権変遷
- 主要政党
- 各党支持率変遷
- 現在の議会構成
- フィアラ政権の1年
- チェコ共和国大統領
- 大統領選挙結果
- 今後の政情見通し

# 1993年チェコ独立後の政権変遷（～2013年）

大統領



1993-2003  
ヴァーツラフ・ハヴェル（二期）



2003-2013  
ヴァーツラフ・クラウス（二期）

1998.1.  
大統領選挙

2003.1.  
大統領選挙

2008.1.  
大統領選挙

2013.1.  
大統領選挙

1998

2006

2010

2013

内閣

1996.6  
下院選挙

1998.6  
下院選挙

2002.6  
下院選挙

2004.5  
EU加盟

2006.6  
下院選挙

2010.6  
下院選挙

93-97  
クラウス首相

ODS

KDU-CSL

+KDS  
+ODA

暫定

98-02  
ゼマン首相

ČSSD

02-04シュピドラ首相  
04-05グロス首相  
05-06パロウベク首相

ČSSD

KDU-CSL

+US-DEU

06-09  
トポラーネク首相

ODS

KDU-CSL

+ 緑の党

暫定

10-13  
ネチャス首相

ODS

TOP 09

+VV

# 1993年チェコ独立後の政権変遷（2013年～現在）



# 主要政党

## 革新派

チェコ海賊党 (4)



|         |       |
|---------|-------|
| バルトシュ党首 |       |
| 2009年   | 1180人 |

首長と無所属 STAN (33)



|         |       |
|---------|-------|
| ラクシャン党首 |       |
| 2004年   | 1600人 |

社会民主党 CSSD (0)



|         |        |
|---------|--------|
| シュマルダ党首 |        |
| 1893年   | 15600人 |



|        |       |
|--------|-------|
| バビシュ党首 |       |
| 2012年  | 2900人 |

伝統・責任・繁栄09 TOP09 (14)



|            |       |
|------------|-------|
| P.アダモヴァー党首 |       |
| 2009年      | 2500人 |

## 中道ゾーン

不満を持つ市民の運動ANO (72)



|         |        |
|---------|--------|
| ユレチュカ党首 |        |
| 1919年   | 21700人 |

キリスト教民主同盟-人民党  
KDU-ČSL (14)



|        |        |
|--------|--------|
| フィアラ党首 |        |
| 1991年  | 13600人 |

経済的  
左派

経済的  
右派



|          |        |
|----------|--------|
| コネチュナー党首 |        |
| 1990年    | 31000人 |

チェコモラヴィア共産党 KSČM (0)

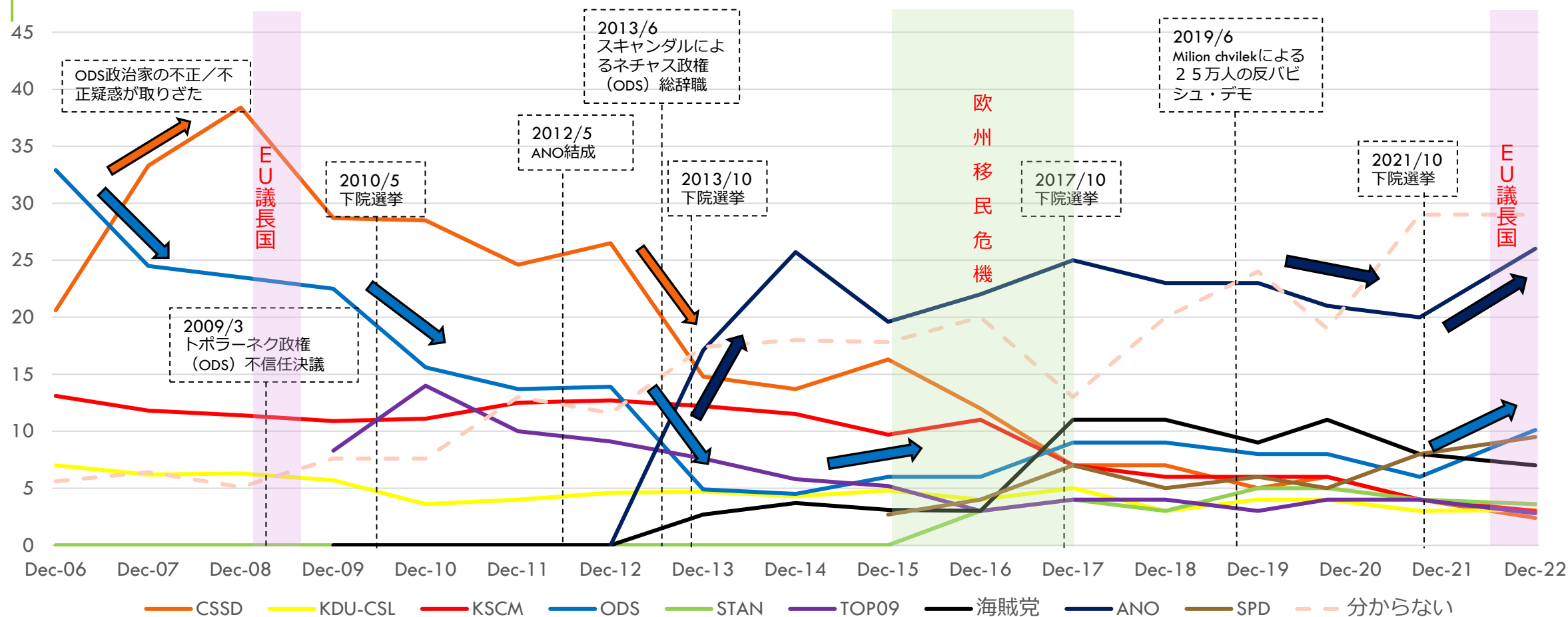


|        |       |
|--------|-------|
| オカムラ党首 |       |
| 2015年  | 6500人 |

## 保守派

自由と直接民主主義 SPD (20)

# 各党支持率変遷 (2006/12~)

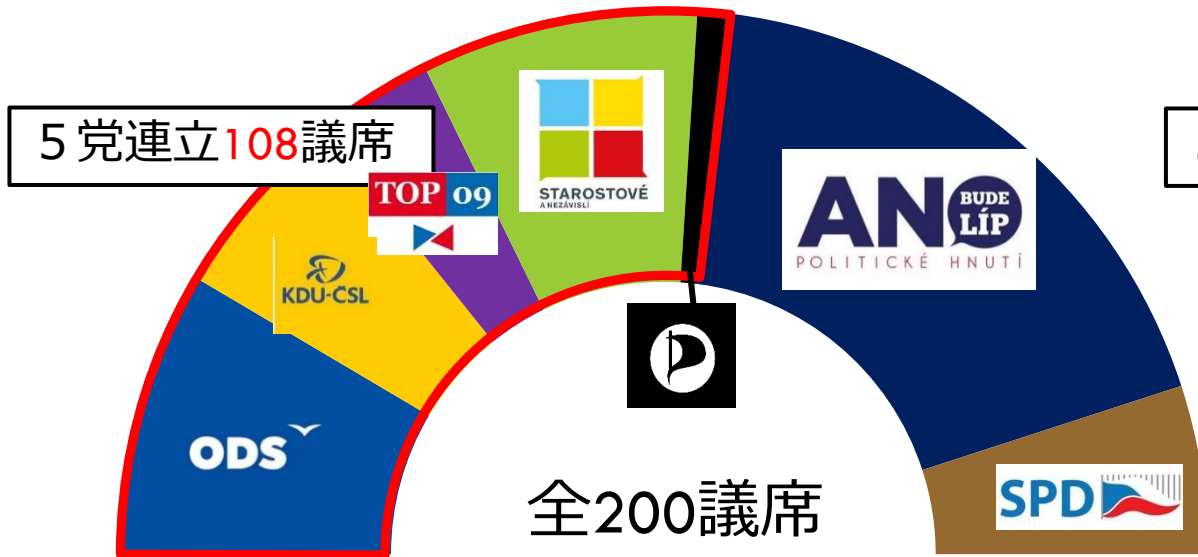


出典：STEM

# 現在の議会構成

## 下院

最後の選挙：2021年10月（任期4年）



## 上院

最後の選挙：2022年10月（任期6年）  
※2年ごとに1/3議席を改選する。



- 21年下院選挙では、反バビシュを掲げる野党が結束して変化を求める有権者を動員。8年ぶりにODSが与党第一党となり5党で過半数を中道右派政権を形成。
- 22年上院選挙においても現政権側（ただし18年以降すでに現与党系が過半数）が勝利。  
→現政権は強い議会のバックアップを得て政策を通しやすい状況。

# フィアラ政権の1年



## ウクライナ支援・対ロ制裁

- フィアラ首相のキーウ訪問（3月）
- 総額100億コルナ相当の軍事支援
- 47万人の避難民への庇護
- ロシア総領事館の閉鎖・査証発給停止
- ロシア人外交官の追放
- マグニツキー法の制定



## EU議長国

- 史上初の欧州政治共同体サミット主催
- 対ロ制裁の強化・ウクライナ財政支援
- Fit for 55関連の暫定合意
- EU市場でのガス価額上限合意



## インフラ・エネルギー政策

- エネルギー価格上限設定
- オランダLNGターミナル借用

## 軍の近代化

- 第5世代戦闘機、新型戦車の導入
- 国防費GDP比2%法制化法案提出



その他：前政権との差異化（コロナ規制廃止／EET廃止）、国家インド太平洋戦略策定 など



# チェコ共和国大統領

- 直接選挙による選出（2013年選挙から導入）
- 任期は5年（三選禁止）
- 主な権能：
  - ★ 国家を対外的に代表、軍の最高司令官
  - ★ 下院の解散（※予算案を下院が30日以内に可決しない場合等限定的）
  - ★ 法案への拒否権（ただし再度下院の過半数で成立）
  - ★ 首相の任命（+組閣の指示）
  - ★ 首相の提案に基づく内閣の任命及び解任
  - ★ 栄典の授与・恩赦の決定



- 暫定内閣の創設
- 閣僚人事への介入
- 恣意的な任命プロセスの延長etc...



ゼマン大統領

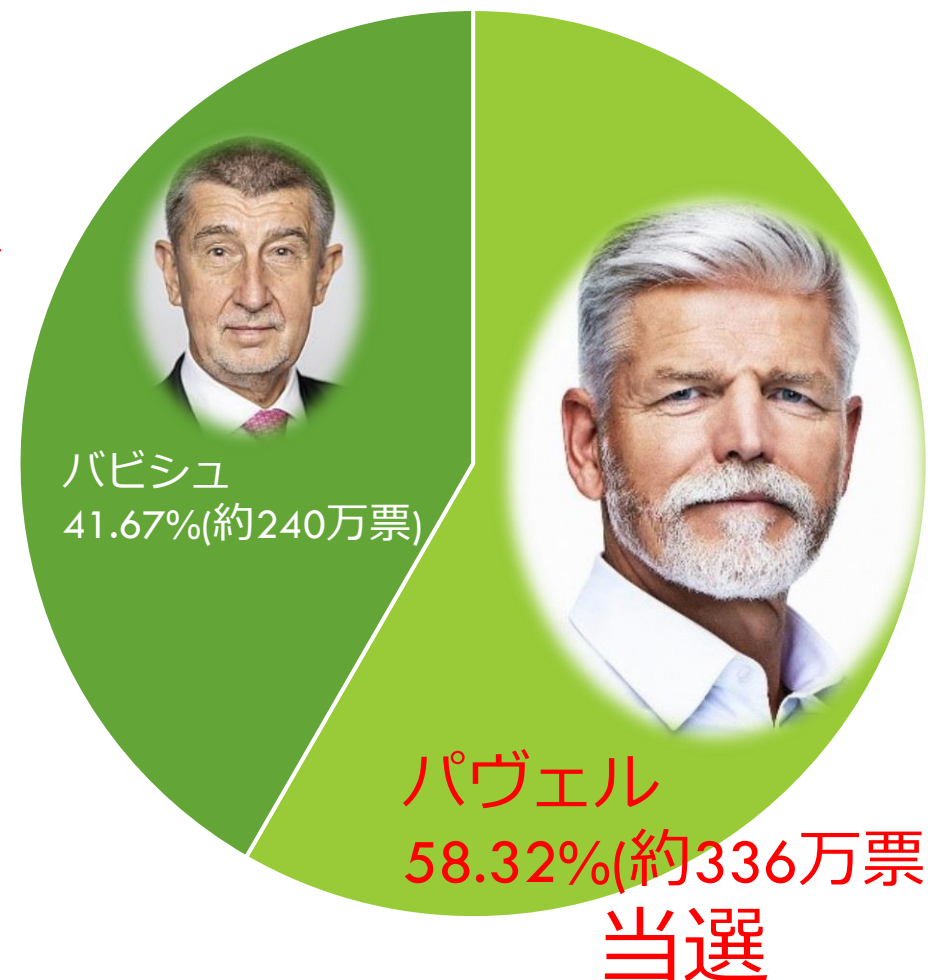


# 2023年1月大統領選挙

決選投票 (1/27-28)

第1回投票 (1/13-14)

| 候補者名                  | 得票率    |
|-----------------------|--------|
| ペトル・パヴェル (退役軍人、無)     | 35.40% |
| アンドレイ・バビシュ (前首相、ANO)  | 34.90% |
| ダヌシェ・ネルドヴァー※          | 13.92% |
| パヴェル・フィシエル (上院議員、無)   | 6.75%  |
| ヤロスラフ・バシュタ (下院議員、SPD) | 4.45%  |
| その他3名                 | 4.49%  |



※ダヌシェ・ネルドヴァー教授 (44)  
2018年にメンデル大学 (ブルノ) で初めて女性かつ最年少の学長に就任 (~22年)。税政を専門とする経済学者。共産党の過去を持たない若い世代の代表として知名度と人気を高め、一時は候補者の中で最も高い支持率を得た。



# ペトル・パヴェル次期大統領



## 略歴・人となり

2012- チェコ軍参謀長

2015- NATO軍事委員長

13歳から軍幼年学校入学。2018年の  
退役まで軍人として過ごす。

英国留学・欧州連合軍最高司令部  
(ベルギー) 駐在など国際経験豊か。



NATO軍事委員長時代のパヴェル

## 内政・外交への影響

- 基本的価値の重視 (人権・民主主義)
- 明確な親EU、親NATO姿勢
- 厳しい対中姿勢、台湾との協力重視
- 強いウクライナ支持・支援継続
- 現政権との協調
- 社会の融和・地域格差の是正

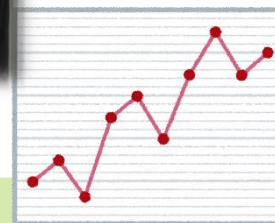


2月1日に首相・上下院議長と会談

# 今後の政情見通し



与党系政治家のスキャンダル



低い内閣支持率  
(34%)

✓ 安定した政権運営  
✓ 内政上の課題への注力

インフレ  
高止まり

野党による審  
議妨害

社会の  
分断化



# (参考資料) 閣僚名簿



首相 (ODS党首)  
ペトル・フィアラ (58)

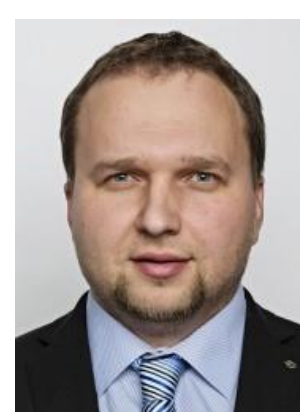
- 政治学者
- 元マサリク大学学長 (2004-11)
- 元教育大臣 (2012-13、ネチャス内閣)
- 13年ODS入党、14年ODS党首
- 17年下院議員



第一副首相  
内務大臣  
(STAN党首)



- ヴィート・ラクシャン(44)
- ギムナジウム教師 (独語)
  - 元コリーン市長 (10-19)
  - 15年STAN入党
  - 17年下院議員



副首相  
労働社会大臣  
環境大臣



- (KDU-CSL党首)  
マリアン・ユレチュカ(41)
- 99年KDU-CSL入党
  - 農業企業勤務・農家経営
  - 13年下院議員
  - 元農業大臣(14-17 ソボトカ内閣)
  - 20年KDU-CSL党首



副首相 (デジタル化担当)  
地域開発大臣  
(海賊党党首)

- イヴァン・バルトシュ(42)
- 米国留学経験あり
  - 09海賊党創設時から党首
  - 国際IT企業勤務
  - 17年下院議員



副首相  
保健大臣  
(TOP09副党首)



- ヴラスチミル  
・ヴァーレク(62)
- ブルノ大学病院放射線医
  - マサリク大学医学部教授
  - 13年TOP09入党
  - 17年下院議員

15省庁18大臣（うち3つは省庁を持たない担当大臣）

党別閣僚数：ODS-6ポスト STAN-4ポスト KDU-CSL-3ポスト TOP09-2ポスト(+下院議長) 海賊党-3ポスト



財務大臣  
(ODS副党首)



ズビニェク・スタニユラ(58)

- 91年ODS入党
- システム開発企業勤務
- 元オパヴァ市長（02-10）
- 10年下院議員
- 元運輸大臣（12-13）



外務大臣

ヤン・リパフスキー(37)

- マシネー&カパニー等に勤務
- 15年海賊党入党
- 17年下院議員
- ※21年選挙で落選



農業大臣



ズデニェク・ネクラ(51)

- 保険会社、金融機関勤務
- 農業分野の融資を担当
- 07年KDU-CSL入党
- Těšetice町長（7-14, 18-）



産業貿易大臣



ヨゼフ・スィーケラ(55)

- 無所属（STAN後援）
- 投資家
- 元ERSTEグループ幹部
- ※下院議員ではない。



運輸大臣  
(ODS副党首)



マルティン・クプカ(47)

- 各行政機関の広報官
- 08年ODS入党
- 17年下院議員
- 20年中央ボヘミア副県知事（道路交通担当）



教育・青年・  
スポーツ大臣  
(STAN副党首)



ヴラチミール・バラシュ(63)

- 法学者
- 元西ボヘミア大学法学部長
- 17年STAN入党
- 21年下院議員



文化大臣  
(ODS副党首)

- マルティン・バクサ(46)**
- ギムナジウム教師 (地理)
  - 99年ODS入党
  - ピルゼン市長 (2010-14, 18-)
  - 17年下院議員



法務大臣

- パヴェル・ブラジエク(52)**
- マサリク大学法学部講師、弁護士
  - 98年ODS入党
  - 元法務大臣(12-13, ネチャス内閣)
  - 13年下院議員



国防大臣

- ヤナ・チェルノホヴァー (48)**
- 銀行勤務後、国際関係修士取得
  - 97年ODS入党
  - プラハ2区長(06-10, 12-)
  - 10年下院議員 (防衛委員長)



環境大臣  
(KDU-CSL副党首)  
**3月に就任?**

- ペトル・フラチーク(38)**
- 情報学修士
  - 10年KDU-ČSL入党
  - 元ブルノ市第一副市长
  - ※下院議員ではない。

## 首相府内担当大臣 (省庁なし)



欧州担当大臣

- ミクラシュ・ベク(57)**
- 音楽学者
  - 元マサリク大学学長 (11-19)
  - 18年上院議員 (EU委員長)
  - ※無所属、STAN後援



科学・研究・  
イノベーション  
担当大臣  
(TOP09副党首)

- ヘレナ・ラングシャードロヴァー(58)**
- 元チェルノシツェ市長 (98-06)
  - 09年TOP09, KDU-CSL入党
  - 10年国際政治学修士取得
  - 10年下院議員



立法担当大臣

- ミハル・シャロムン(47)**
- 弁護士 (著作権専門)
  - トゥシェビーチュ市議 (10-14)
  - ※無所属、非議員

# (参考資料) フィアラ政権公約の概要

## 財政

- 「課税ブレーキ」の導入
  - E E Tの廃止
  - 財政健全化のためのマーストリヒト基準の早期達成
- ※財政赤字GDP比3%以下など。



## 社会・教育

- 年金改革（貢献度による上乘せ、家族内支援）
- 教育予算のOECD平均達成、教員給与を平均の130%へ



## 環境・エネルギー

- Green Dealは投資と生活水準向上のチャンス
- 将来像は原子力と多様な再生可能エネルギーの組合せ
- 太陽光発電の再評価、2025年までに10万戸に設置
- 2033年までの脱石炭火力に向け環境整備。
- 天然ガスは重要移行燃料。地政学的見地から供給源を多様化。
- 原子力を低炭素エネルギーとしてEUに認めさせる。国内原発の整備、小型モジュール炉の利用。
- 欧州炭素国境調整メカニズム導入を支持



## その他

- コロナとの共生、独立の感染症管理研究所の設置
- 3年で行政手続きのデジタル化を完了
- 文化予算のGDP比1%目標、クリエイティブ産業支援



## 外交・EU・防衛

- EU・NATOの積極的メンバー
- 2022年後半のEU議長国成功
- 人権・民主主義の重視（ハヴェル外交）、マグニツキ法
- V4・独・米・英・イスラエルとの関係強化
- インド太平洋の民主国等（印日韓台）との協力深化
- 対ロシア・対中国関係の見直し
- 三海域イニシアティブへの参加
- 加盟国の主権を確保したEU改革を支持
- 雇用・学問・移動の自由含む単一市場深化支持
- EU拡大・近隣諸国政策・地中海とサヘルへの関与支持
- 2025年国防費GDP比2%達成の法制化
- サイバー防衛・AI等の研究開発、国内防衛産業支援
- 中露等非民主国家の重要インフラへのアクセス排除
- チェコ軍海外派遣円滑化のための法整備



## 産業・インフラ

- 中小企業支援の重点化
- （「組み立て国」から）「研究開発国」を目指す
- 高速鉄道（VRT）建設の法制化
- 第三国への労働市場開放（労働許可手続迅速化を含む）

